

2010年大連交通事情

岡山県大連ビジネスサポートデスク 岡野涼子

大連は遼東半島南端に位置し、面積は 12,574 平方キロメートル。中国沿岸部の代表的な経済貿易都市です。

【主な交通ルート、手段】

○公共バス

料金は原則 1 元とされ、一部路線は 2 元、市内から経済技術開発区・旅順など凡そ 1 時間以上かかる距離においては 3 元～7 元程度です。

○長距離バス

遼寧省内の各地及び北京、天津など周辺の主要地域へ定期的に運航しています。冬場は高速道路の閉鎖や道路の凍結などで時間・安全性に注意が必要です。瀋陽・大連間は 1 時間に 3～4 本あり、片道 120 元前後で、利用者も多い状況です。

○ロータリーバス・路面電車

バスと同じく料金は原則 1 元です。

○ライトレール

通称「軽軌」。市内大連駅に隣接する専用駅から経済技術開発区より更に東の金石灘ルートと開発区で乗り換え西側の新興住宅地方面に向かう新路線の 2 本。メインルートの終着駅「金石灘」まで 8 元、経済技術開発区まで 4 元で、市内・開発区間の移動ではよく利用されます。

○タクシー

初乗り料金は 8 元。運転はやや大胆で近年は渋滞時間の延長と新米運転手の増加で以前ほど利用し易いとは言い難いですが、外国人にとっては主要な交通手段です。なお、2011 年 2 月末、タクシー管理制度の新規定制定及び当局からの管理徹底の指導に対し、燃料値上げなどによるコスト上昇、収益率の悪化による不満からタクシードライバーによるストライキが発生しました。

○列車

大連駅は東北の主要ターミナルで、瀋陽/大連であれば特快（＝特急）で片道約 4 時間、ソフトシートで 90 元前後、途中、営口市の大石橋エリア、鞍山市といった工業都市を経由します。

○船：

中国東北地域では目下、唯一の不凍港を有する大連市。市街に位置する大連港は既に周辺が商業地域として開発中であり、港湾機能は大連経済技術開発区より更に東に位置する大連新港に移行しつつあります。保税港区には大連港集団及び日本郵船が出資する完成車専用の埠頭や、伊藤忠商事の大型保税倉庫等が設置されています。貨物だけでなく山東省威海市等近辺都市への旅客線も有しています。

○飛行機

国際線と国内線が就航する大連周水子空港は、13カ国89都市に150路線が就航しており、11月末の時点で東北地域では初めて通年旅客輸送数が延べ1000万人を突破しました。渋滞さえ無ければ市内・大連経済技術開発区双方より約30～40分と至便な場所に位置しています。市内へは正規のリムジンバスはありませんが、タクシーであれば30元程度で移動可能です。乗合バスは10元/名で、満席になり次第出発します。

【近年の交通インフラ改革】

- 空港は市北西部への移転・拡張が長年計画されています。
- 現在の大連駅はそのまま利用し、別途、郊外の南関嶺に高速鉄道の乗り入れ可能な駅を建設し主要ターミナルとする予定です。
- 地下鉄は2010年7月に建設を開始、2012年末には試験運転を開始予定です。完成後には空港及び高速鉄道駅に連結する見込みです。
11月27日付の地元紙「大連晩報」によると全路線は67.62キロ・2路線・48駅…1号線が25.06キロ・20駅、2号線が42.56キロ・28駅。総工費は287.38億元を予定。

【近年の産業発展と交通】

大連の代表的な開発区・特別区と言えば大連経済技術開発区、大連ハイテクパーク・ソフトウェアパーク、保税区・保税港区、旅順経済技術開発区、長興島臨港工業区、花園口経済区等です。うち、中山広場を中心とする市内中心部から大連経済技術開発区中心部まで車で45分程度とされていますが、実際には近年の乗用車の急増により時間帯によって大きく左右されます。現在、出勤時間帯の他、日によっては正午前後も込み合う為注意が必要です。旅順は本年より対外開放を進めており、地下鉄東西ルート of 終着駅も同地域の発展を視野に設定しています。

また、中国で五番目の広さを誇る島である長興島は全島が工業区とされ、造船及び石油化学工業、環境・省エネ産業の集積地として計画されています、2010年11月、従来の高速道路以外に直通の高速道路が開通し、従来は市内より車で2時間強かかっていましたが30分以上短縮され、1.5時間程度となりました。

《本レポートは2010年11月末時点での各種情報及び2月末の報道に基づき作成しています》

一般社団法人日中経済貿易センター大連代表処